

山行報告書

期 間：2020年12月4日（金）夜 ～ 12月6日（日）

種 別：個人

山 域：八ヶ岳アイスクライミング（ジョウゴ沢、裏同心ルンゼ）

参 加 者：関（ベルニナ山岳会）、工藤（ベルニナ山岳会）、河本（横須賀）

コースタイム

12/4

21：30 関さん宅 0：00 道の駅古淵沢

12/5

6：00 八ヶ岳山荘～7：00 美濃戸山荘～10：00 赤岳鉱泉～10：54 ジョウゴ沢 F1

～12：41F2～14：00F3～16：00 赤岳鉱泉（幕）

12/6

7：00 赤岳鉱泉～7：43 裏同心ルンゼ F1～8：31F2～9：10F3～9：40F4～10：34F5

～11：47 終了点～12：40 大同心稜～14：00 赤岳鉱泉～15：30 美濃戸山荘



裏同心ルンゼ



ジョウゴ沢 F2



ジョウゴ沢

記録 河本

12/4 今回は関さん、工藤さん河本のパーティーだったのだが、工藤さんは12/5のみの参加ということで、移動を分けるかたちとなった。私は関さんと道の駅で前夜泊をし、12/5の6:00に工藤さんと八ヶ岳山荘にて集合とした。

12/5 午前6:00の気温が-1°Cと厳冬期の八ヶ岳と比べると非常に温かい印象。私自身12月上旬に八ヶ岳へ来たことがなかったので、今後の良い参考となった。工藤さんと合流し美濃戸山荘まで車で上がる。林道はまだ雪も積もっておらず、車高の高い車なら普通に通過できる状態であった。そこから先、美濃戸山荘から鉱泉まではそれなりに雪がついていて、雪山らしい景色に変わっていた。服装はドライレイヤー、ベースレイヤー、ソフトシェル、ハードシェルの4枚重ねだったが、若干汗ばむ感じであった。

これだけ温かいと沢が凍っていないのではと心配であったが、ジョウゴ沢は心配をよそにうっすらと凍っていてくれた。ほぼコースタイムで鉱泉に着き、幕を張って出発。ジョウゴ沢でF1~F3迄でトレーニングをし同ルートで懸垂を含め下降。鉱泉に着く頃には16:00頃だったと記憶している。この時間から下山を開始する工藤さんを心配しながらも我々は幕に入りビールで乾杯。最高に旨いビールだった。早々に食事を済ませ21:00頃の就寝と記憶している。

12/6 午前5:00起床。朝、関さんより説明があり、アイスクライミングは明るい所で氷の状態を確かめなければいけないとのことで、未明からの出発は必要ないとのことだった。よって7:00出発とし7:43に裏同心ルンゼに取付き、11:47に終了点に到達した。ルートの印象としては入門ルートということもあり私のように初めてアイスの本チャンをやるものでも事前に練習をしていれば十分楽しめるルートであった。終了点から大同心稜へトラバース。そこから赤岳鉱泉へ降り、14:00赤岳鉱泉へ辿り着いた。幕を撤収し15:30美濃戸山荘到着。全体のペースとしては標準的なものだったのではないだろうか。充実した2日間となった。

今回の山行を企画して頂いた金川様にはいつも感謝しております。並びに山行を共にして頂いた関様、工藤様、今回もほんとに楽しい山行となりました。いつもありがとうございます。また、よろしく願い申し上げます。